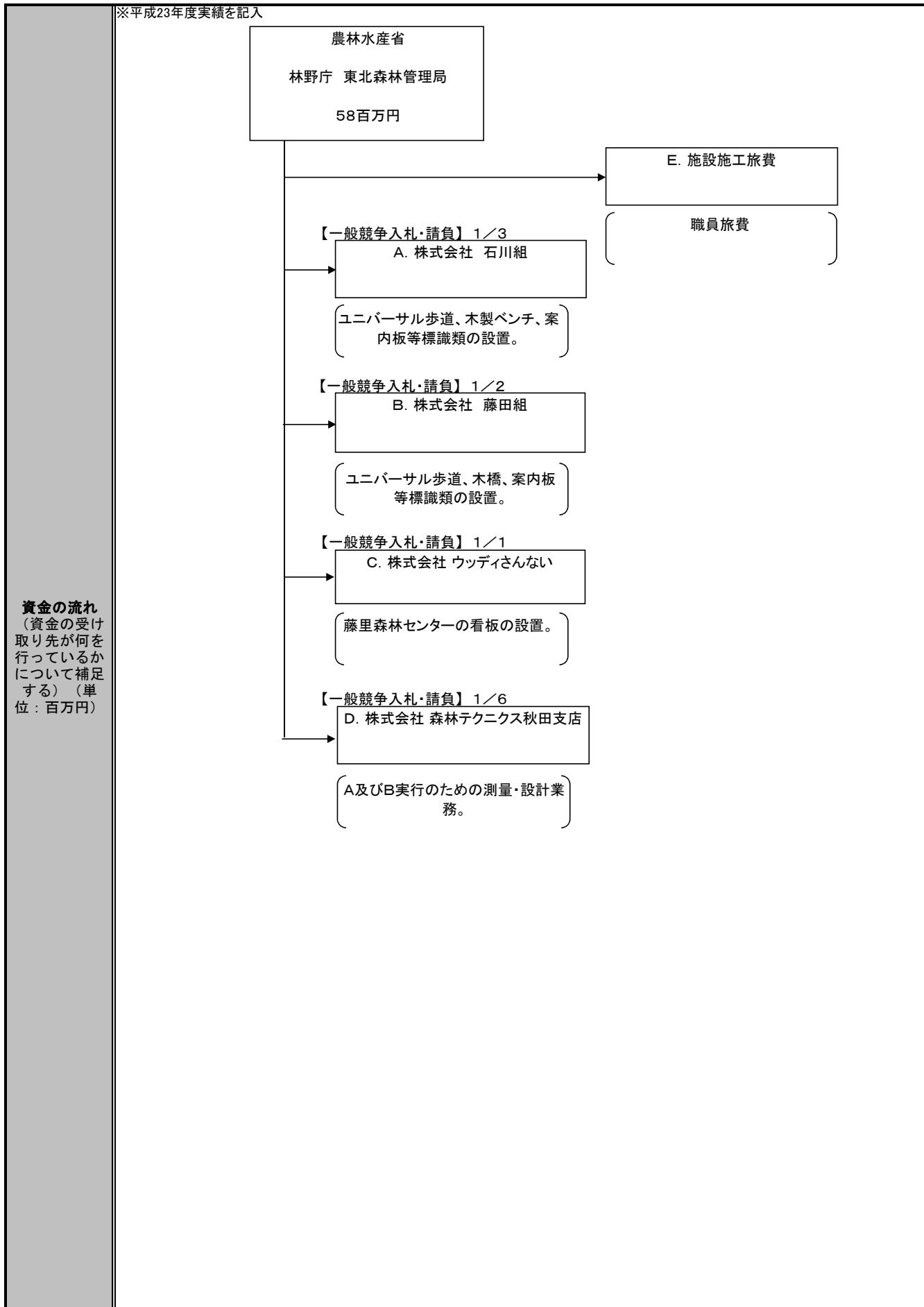


平成24年行政事業レビューシート (農林水産省)

事業名	森林センター施設整備事業		担当部局庁	林野庁 国有林野部		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成13年度～平成24年度		担当課室	業務課 国有林野総合利用推進室		国有林野総合利用推進室長 石澤 尚史	
会計区分	一般会計		施策名	-			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	官公庁施設の建設等に関する法律第5条 国家公務員宿舎法第5条 森林・林業基本法第4条 環境保全活動・環境教育推進法第5条		関係する計画、通知等	森林・林業基本計画 国有林野の管理経営に関する基本計画 環境保全の意欲の増進及び環境教育の推進に関する基本的な方針			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	豊かな生物相などの自然特性を有する国有林野を活用した一般国民に対する森林・林業についての普及・啓発を実行するため、老朽化した事務所等の建て替え、様々な自然体験活動・森林ボランティア活動のニーズに対応できる施設整備を実施し、利用者の利便性の向上や森林・林業に対する理解の促進等を図る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	優れた自然景観を有し多くの国民の利用に供されている知床、白神山地、高尾山において、森林空間の適切な保全・利用対策を実施し国民の利用促進を図る。近年では、子どもから高齢者、障害を持った方、外国人など多様な方々の利用に応えるため、歩道や標識の設置ではユニバーサルデザインの導入を進めている。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算	65	65	58	34	-
		補正予算	-	-	-		
		繰越し等	-	-	-		
		計	65	65	58	34	-
		執行額	56	65	58		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	従来より緊急度、不具合の頻度(耐用年数)等を考慮し、必要最小限の改修等を行っているところである。今後も利用者の利便性の向上等を図るために必要最小限の改修等を行う。		成果実績	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	平成23年度には、白神山地においてユニバーサルデザインによる歩道、標識等のフィールド整備を行った。また、機能を維持するため真に必要最小限の改修等に限定し、効率化を図っている。		活動実績 (当初見込み) 実施箇所数	1	1	1	-
（1）	(1)	(1)	(1)				
単位当たりコスト	H23 58(百万円／実施箇所数) H22 65(百万円／実施箇所数) H21 65(百万円／実施箇所数)		算出根拠	58(百万円／実施箇所数) = {58(百万円・施設費) - 0(百万円・施設施工旅費)} / 1(実施箇所数)			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	施設施工旅費	0	0	本事業は、国有林野事業特別会計の一般会計化に伴う歳出予算の組替えにより、 平成24年度限りで終了としたため。			
	施設施工手料費	2	0				
	施設整備費	32	0				
	計	34	0				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算の 使途・費目・	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	・国民参加の森林づくりを推進するために選定した全国3箇所の拠点における事業であり、世界遺産地域等に指定された国民のニーズが高い地域に限定した事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	・国有林における国民参加の森林づくりの先進的拠点であることから、国自らが実施する必要がある。
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・費目・	△	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	・事業発注に係る競争性を確保するために、一般競争入札を導入している。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	・公告をHPで公表する等、競争性の確保に努めたが、4件のうち1件が1者入札になったことから、今後については、十分な工期の確保や適正な発注規模の確保等に努める。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
活動実績・成果実績	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	・藤里森林センターでは、世界自然遺産である白神山地の秋田県側の入口である国有林において、ユニバーサル歩道(860m)等を整備し、利用者の安全性・利便性の向上を図った。
点検結果	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	・緊急度、不具合の頻度(耐用年数)等を考慮し、必要最小限の改修等を行っている事業であり、成果目標及び成果実績を定められないことから「-」としている。
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		本事業は、資金の流れのCについて、1者応札となっている。また、成果目標に対する達成度が記載されていない。以上のことから達成度を検証できる目標にするため「支出先の選定における競争性・透明性の一層の向上」、「目標設定と成果測定の実施」を行うべきであり、本事業としては「一部改善」とする。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減		本事業は、国有林野事業特別会計の一般会計化に伴う歳出予算の組替えにより24年度限りで廃止し、新25-0055に整理統合。	
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	-



支出先上位10者リスト

A. 民間団体

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社 石川組	ユニバーサル歩道、木製ベンチ、案内板等標識類の設置。	32	3	87.5
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					

B. 民間団体等

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社 藤田組	ユニバーサル歩道、木橋、案内板等標識類の設置。	23	2	84.8
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					

C. 民間団体等

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社 ウッディさんない	藤里森林センターの看板の設置。	1	1	98.5
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					

D. 民間団体等

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社 森林テクニクス秋田支店	A及びB実行のための測量・設計業務	2	6	96.6
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					